

乙「まあ、ひどいこと。でも、お互にミリオチアでないから、かうした勝手なことも云つてゐるのね」。

甲「だつてミリオチアは百人の中たつた一人で、中産階級も一人で、あとの九十八人は貧民階級に属するといふから、私達も多数黨でいゝぢやありませんか」。

乙「まあ、貧乏してゐるといふ理屈がいひたくなつていゝんですねえ」。

* * * * *

二人は何臺かの満員電車を見送つて、ふと〇〇行の車内に消えた
(二二、二三)

○編輯室より

○倉橋主幹は、豫定の通り更年と、ともに渡英されたと伺ひました。

したがつて此の後當分の問手紙の宛所は、英國ロンドン市、日本大使館氣付(C/o Japanese Embassy, London, England)となりま

○ おー寒む、こ寒む、

○ おー寒むこ寒む、山から小僧が飛んで来た、なんといつて飛んで来た、寒いとて飛んで来た、茶碗のかけで、あたまこつきりはつてやれ、

○ おー寒むこ寒む、山から小僧が泣いて来た、なんといつて泣いて来た、寒いとて泣いて来た、
(東京市)

○ おーさぶこさぶ、猿の甚平(羽織の名)かつてこう、子供は風の子、大人は火の子、
(大阪市)

○ おー寒むこ寒む、こ寒むのしりへ、氷がはつて、絲引きやばり〜、
繩ひきやばり〜。
(宇治山田市)

○ おー寒や、こと〜山へ頭巾置いて来て、取にこがし、もどらうか〜、取りにいくのも寒いし、戻るも寒いし、馳の皮などがぶつてけ〜。
(四日市市)

(村尾氏の「童謡の中より」)